

愛知県代協が熱田神宮を清掃

今年で10回目、322名が参加



愛知県代協(高木勝会長)は、10月24日、名古屋市熱田区にある熱田神宮の清掃行事を行った。今年で10回目となる。午前9時に集合場所となっている同神社内熱田神宮会館前の広場に同代協の会員や従業員、家族、保険会社社員と家族、賛助会員の社員など322名が集まった。

まず、主催者を代表し高木会長が挨拶。10月6日に行われた創立70周年の記念事業について話し、そのときに熱田神宮にリヤカーを2台寄贈したことも触れたあと、「今日は天候に恵まれました。仕事のことを忘れず、しっかりと晴れやかな気持ちで清掃奉仕に取り組んでください」と述べた。

次に協賛者代表挨拶では、損保協会中部支部を代表して、あいおいニッセイ同和損保名古屋支店・白坂貴之支店長が「継続して行われている熱田神宮の清掃に多くの人が参加することは素晴らしいこと。損保協会もさまざまな形で地域貢献をしているが、今後も皆さんの協力によりこの行事を重ねていってほしい」と挨拶。

また、熱田神宮からは安部彌宜が「寄贈いただいたリヤカーは本日がお披露目となります。好天の中、お掃除よろしくお願います」と挨拶。

清掃は北コース東門、同西門、内コース、南コース東門の4つに分かれて行われ、班ごとに記念写真を撮ったあと、順番に清掃に向かった。当日は土曜日ということもあって、七五三でお参りする人たちや結婚式を挙げる人たちなどで多くの人が行き交う中

高木会長が「いい汗をかき、ご奉仕をしてさわやかな気持ちになったと思います。これからも皆さんと力を合わせて業界の発展に努めていききたい」と閉会挨拶。



寄贈のリヤカー



清掃の模様